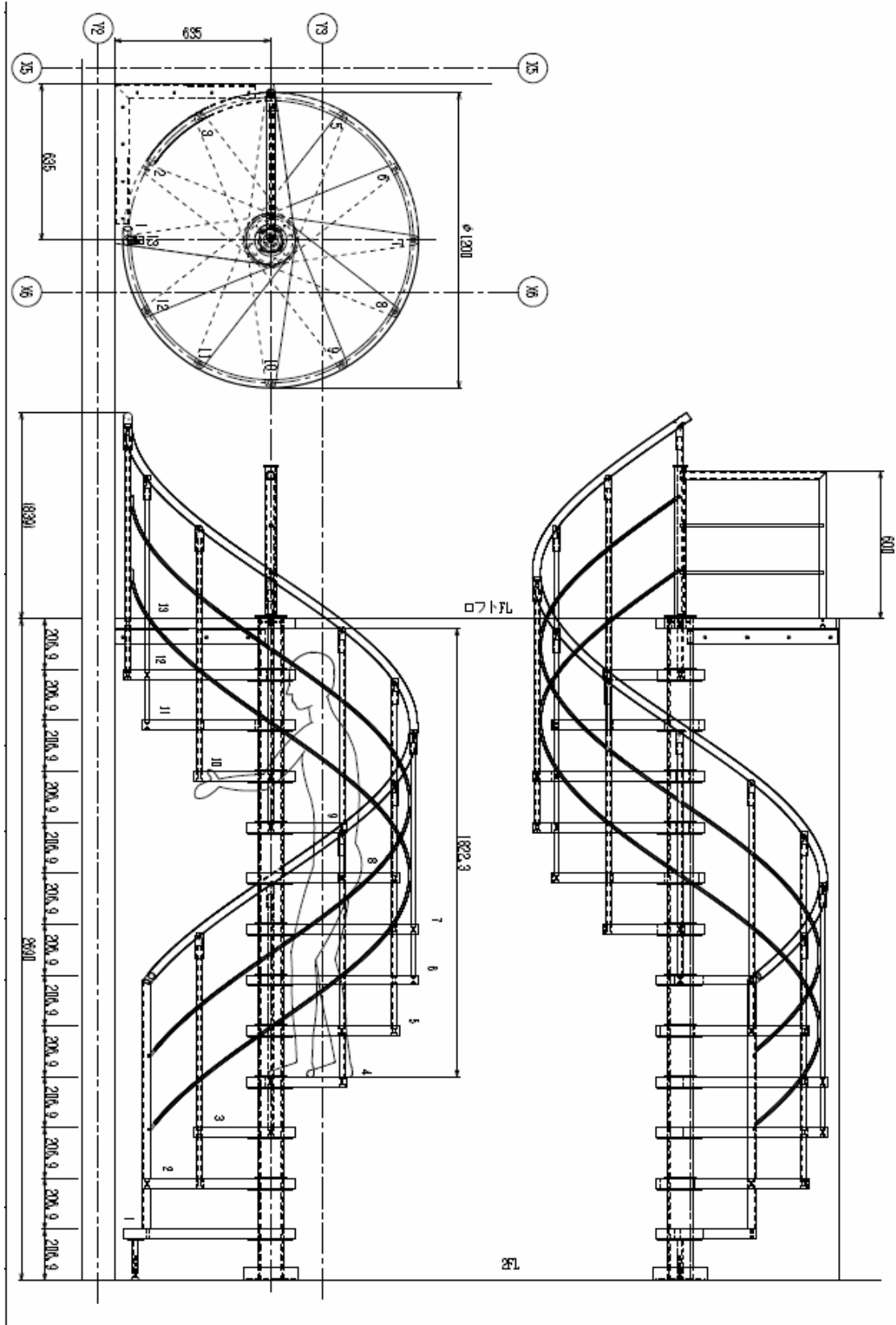


ロフト用 1200 の螺旋階段について

今まではロフトの螺旋階段は 1800 ものを設置してきました。

今回は施主様の要望で 1200 のコンパクトな螺旋階段とし、リビングを有効に使い、一つのオブジェとして配置したいとのことです。設置箇所 2F リビングからロフト。階高 H2690、13 段。



仕様 フレーム、手摺：鋼製

段板：サザンバーチ集成材 t40

踊り場：ゴム集成材 t40

段板塗装：ガラス塗料グラノール

施工順序

1. 階高現場採寸、センターシャフトのベース位置出し、上部踊り場の固定位置出し。

シャフトのベース位置に荷重が集中しますので、工務店様と補強方法を確認致します。



梯子の左側にセンターシャフトが付きます。



丸印がシャフトベース位置です。

この下に補強棧で固め、荷重を受けます。



90度2面の梁位置で踊り場をアングル材で固定します。

アングル固定位置。

2. 螺旋鋼製部、木製部の製作に入ります。



手摺支柱穴

滑り止め溝

3. 現場取り付け開始、段板にリング金物の取り付け。



ビス隠しシール貼り。



1 段目の脚取り付け。

4 . センターシャフトの取り付け。



センターシャフト固定。



ベースカバーのセット。

5 . 段板差込、手摺支柱組み立て。

段差分のスペーサーが入ります。



第1段目は脚が付きます。



段板をとシャフトに差込、手摺支柱を組んで、
いきます。



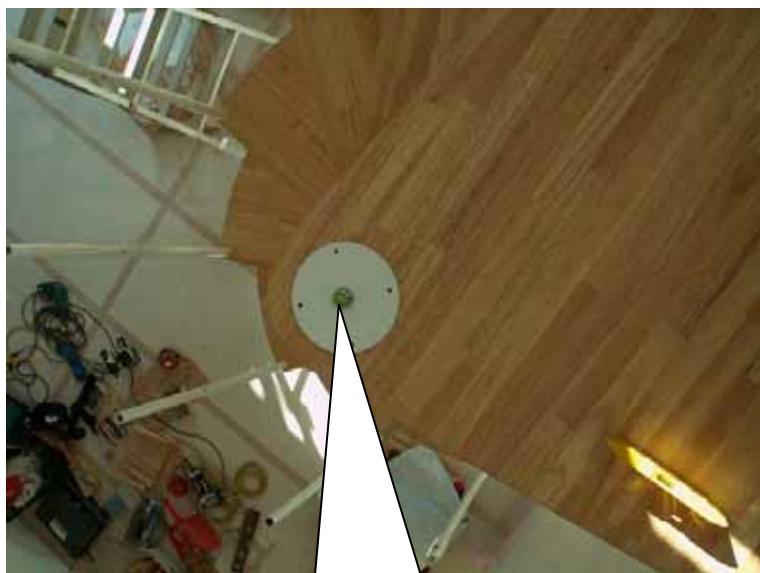
6. 踊り場のセット。(最終段)



12段組み立て完了。



踊り場にリング金物の取り付け。



こここのボルトの固定が大事です。

最終段を差込、このボルトを締めて短尺のリングが一体化し、踊り場のブラケットを付けて完全に固定化されます。

ロフトの床面と踊り場上面との高さでコーナー角度合わせをしながら、踊り場のアングル固定。
(アングルは梁材に固定する。)



ロフト床面との接合面
です。

最上段の踊り場のセット状況。
壁の収まりも大体合っています。

7. 手摺の取り付け。



手摺支柱に手摺受けを差し込む。



支柱の立ちと手摺受け角度を合わせながらビス固定していきます。R600 と小さい為、取り付けに
以外と時間が掛かりました。



手摺取り付け完了。



手摺下の鋼線の取り付け。

8 . 取り付け完了。





ロフト側からの取り合い状況。



1200 の螺旋階段は思った程上り下りに狭さは感じませんでした。背高 1800 以上の方ですと段板の頭が当たりそうですが、ロフト用としては十分に機能します。

コンパクトな設計で、リビングにも合うのではないかと思います。

施主様のこだわりで鋼製部すべて白塗りのところ手摺のみ黒にしたいと最後の要望がありました。これもアクセントで良かったように思えます。そして、オール金属製の螺旋階段にない柔らかさを木製生地色の段板が演出しています。

最後にロフト用螺旋階段の施工状況の比較です。



1200 用
リング金物のフランジ部を大きくしてブラケット無し。



1800 用
リング金物部ブラケット有り。

比較していただきますとこれだけスマートさに違いがあります

。

設計、施工：エヌテック

段板、踊り場：(株)マルダイ 家具部

(株)マルダイ 家具部 Da・Monde 鈴木

平成 21 年 12 月 13 日